



# 楮紙

こうぞし



## 概要

楮紙は、原料に楮を用い、強靱でありながら軽くてしなやかな紙質を持った手漉き和紙です。日本画制作における支持体や裏打ち紙、木版の版画用紙などの絵画材料から、日常の暮らしに関わる材料として障子紙や写経用紙、表具の裏打ち、照明などまで幅広く利用されている紙で、それぞれに適した特性の楮紙が各地域で様々な製法により作られています。

楮紙の原料である楮は、桑科の落葉低木で比較的栽培しやすく、毎年切り株から生える枝の靱皮繊維（茎の周辺部分の繊維）を使用しています。楮の繊維は10～15mmほどで、他の和紙に用いられる雁皮（がんび）や三椏（みつまた）などの原料繊維に比べ太くて長く、繊維同士の絡みがよいため、出来上がる紙は破れにくくとても強度があります。楮の産地としては、栃木の那須楮、高知の土佐楮などが有名で品質も良いとされていますが、近年は外国産の楮も多く輸入されています。

代表的な楮紙としては、石州紙（島根県）、奉書紙（福井県）、細川紙（埼玉県）、程村紙（栃木県）、本美濃紙・薄美濃紙（岐阜県）、西ノ内紙（茨城県）、美栖紙（奈良県）などがあります。

取り扱いの注意として、紙の裏表は、紙肌が滑らかな面が表側で、ザラつきのある面が裏側になります。木版画で使用する場合には、印刷する前に湿らせたボール紙や新聞紙に紙を挟み込み、適度に湿らせることが必要です。楮紙各種は画材店や和紙の専門店で購入できます。

※写真中の紙色は、実際とは異なる場合があります。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字

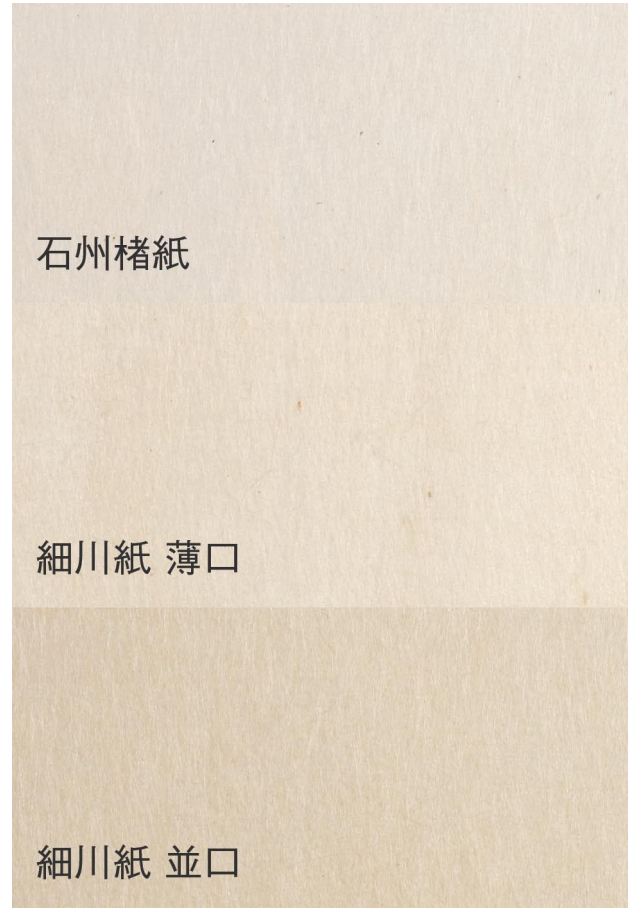
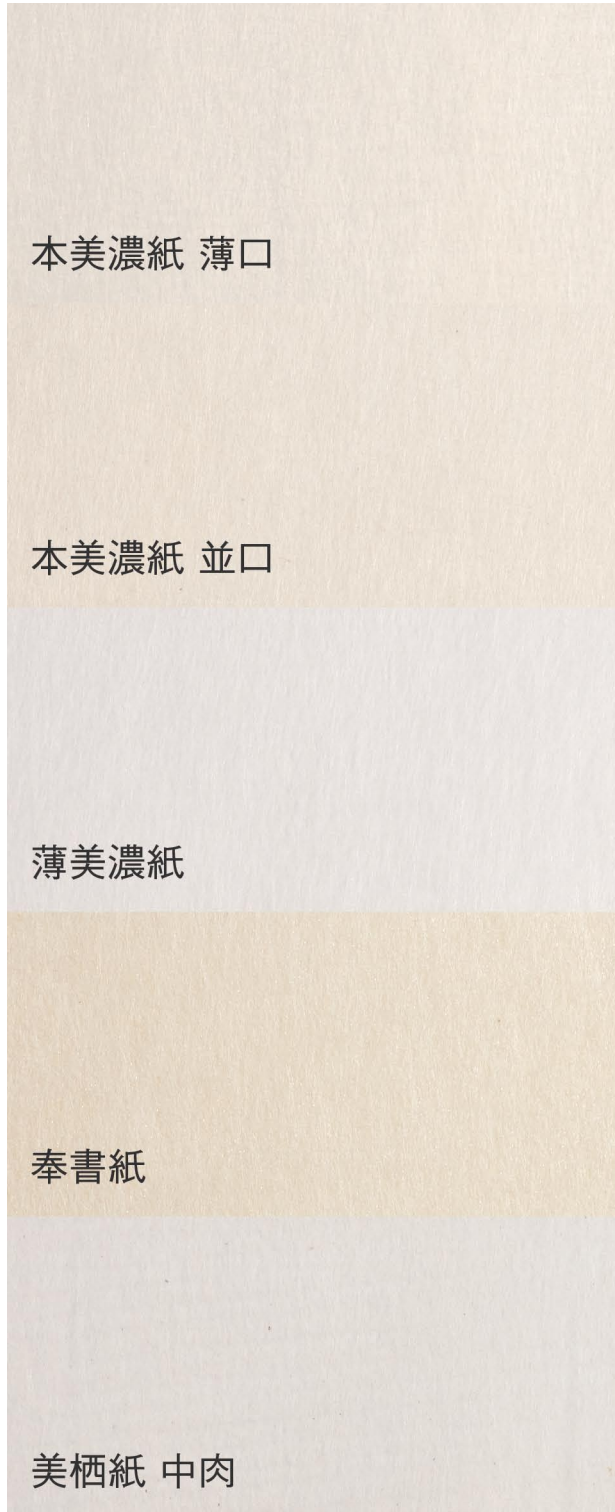


写真 1. 楮紙各種 (拡大写真)



鉛筆



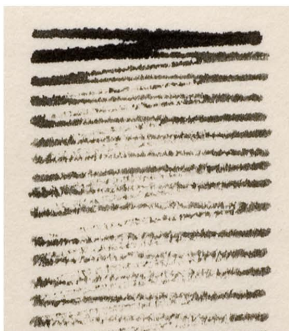
透明水彩



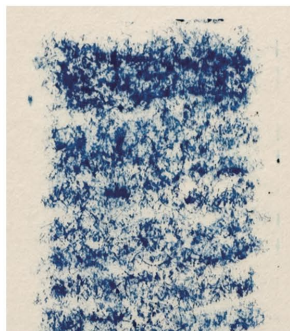
コンテ



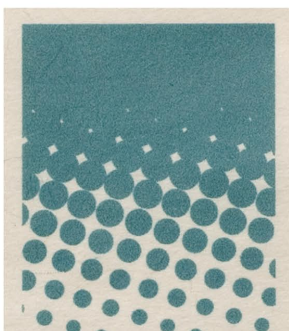
墨汁



ペンインク



パステル



インクジェット

写真 2. 本美濃紙 並口における描画例 (拡大写真)

※描画例 (写真) は、用紙の特性や表現の可能性を示すためのテストサンプルであり、特定の描画材の使用を薦めているものではありません。(一般的には適していないとされる描画材もあえて使用しています。)